

理念の紹介

この理念をもとに、この協議会は活動していきます。

「やりたい『みかんづくり』が叶うまち 太良町」

選ばれ続ける理由は、“自由に続けられること”。

太良町のみかんづくりは、恵まれた自然と受け継がれてきた技術、そして

“自分らしく働ける自由”の上に成り立っています。

有明海を望む畑、温暖な気候、積み重ねられた栽培の歴史。

成熟した産地だからこそ、無理をせず、確実に続けていける。

働き方も、売り方も、一つではない。

自分のライフスタイルにあった方法を見つけることができる。

また、この地域には、支え合い、教え合う文化がある。

だからこそ、太良町のみかんづくりは長く受け継がれてきた。

これからも、「やりたいみかんづくり」を、ここで。

太良町みかんづくり活性化協議会

この協議会の問い合わせ窓口は、
太良町役場農林水産課農政係となっております。

☎ 0954-67-0315(直通)
✉ nosei@town.tara.lg.jp

受付時間 平日8:30~17:15

所在地 〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6

町内向けパンフレットR807

令和8年4月、太良町みかんづくり活性化協議会が発足しました。

町内のみかん生産者へこの協議会の取組みについてお知らせするために、この資料を作成しました。

ご一読いただけたら幸いです。

太良町 みかんづくり活性化協議会

みかんづくりのまち太良町を、みんなのチカラで未来へ。



太良町みかんづくり活性化協議会

～みかんづくりのまち太良町を、みんなのチカラで未来へ～



どんな組織？

みかん生産者が主体となって「みかんづくりのまち太良町」を復活させるべく活動をしていきます。

みかん栽培の先進的な生産者、生産販売する団体・法人、JAさが杵藤園芸センター、太良町、太良町農業委員会、藤津農業振興センターで構成されています。



みかんづくりのまち太良町
を復活させたい！！



なんで発足したの？

太良町では、生産者の減少や後継者不足により、優良な園地であっても荒廃が進んでいます。また、農地が狭小で点在していることから効率的な経営が難しく、今後さらに荒廃園が拡大することが懸念されています。



一方で、生産者も荒廃していく園地をただ見過ごしていたわけではありません。それぞれがみかんづくりや産地の将来について日頃から思いや考えを持ち、個々に意見を交わしていました。

そのような生産者の声を様々な場面で耳にした町農林水産課と藤津農業振興センターの職員は、「このままではいけない」との思いから、生産者が一堂に会して話し合う場を設けました。

JA系統・商系を問わず町内のみかん生産者が集まり、「太良町でみかんを作りたい人を増やすにはどうしたらよいか」をテーマに、産地の将来について真剣な議論を重ねたのです。

みかんづくり活性化のために新しい協議会を立ち上げよう。

そして発足したのが「太良町みかんづくり活性化協議会」です。



なにが目的なの？

この協議会には、3つの柱があります。

①PR（情報発信・体験の創出）

太良町の魅力や儲けるみかんづくりなどの情報発信を行い、太良町に来てもらう、みかんを食べてもらうなどの体験を通して太良町でみかんを作りたい人を確保（とどめる・引き込む）。



②人材育成（研修制度の整備）

安心してみかんづくりに取り組める太良町ならではの研修制度の整備を行い、みかんの作り手を地域ぐるみで育て、太良町へ定着させる。



③園地の継承（見える化・マッチング）

現生産者の意向や条件を整理しリスト化・見える化で園地を管理することで、荒廃農地の増加を防ぎ、優良園地を次の世代（担い手）へつなぐ。



未来のために私はなにができる？

「みかんづくりのまち太良町」の復活のためには、みかん生産者のみなさんの協力なしでは何もできないのが現実です。そこで、お願いが2つあります。

①園地の情報提供にご協力ください

「今年まででやめようかな」とお考えになられているみかん園の場所を教えてくださいませんか。

荒れてからでは次の受け手は決まりません。協議会で何とかできるかもしれません。



②農機具の情報提供にご協力ください

使わなくなった軽トラや選果機など、みかんに関する道具や機械を譲ってもいいよ、という方はいらっしゃいませんか。

これからみかんづくりを始めようという若者に譲渡できるものがないか探しています。



じゃあ誰に相談したらいい？

太良町役場農林水産課、JAさが杵藤園芸センターの指導員、藤津農業振興センターにいつでもお気軽にお声かけ・ご相談ください。

まずは気軽にご相談ください！
一緒に太良町のみかんの未来をつくっていきましょう。

